

多摩川・鶴見川・相模川大規模氾濫減災協議会 取組状況の確認(フォローアップ)について

【資料2－1】概ね5年で実施する取組（実施済みを含む）
・令和3年度末時点（減災協議会）の進捗状況を踏まえ、○：実施予定、△：実施中（50％未満）、▲：実施中（50％以上）、●；実施済み、について評価。

[illegible]

2

【資料2-2】令和3年度までの取組内容の確認
取組状況の進捗確認表(機関別)のR3年度記載内容を反映しています。

3

減災に係る取組方針フォローアップについて

【資料2－3】令和3年度における構成員の取組状況（報告）
構成員より令和3年度における精力的な取組、先進的な取組を報告。

協議会	自治体	事例	内容
多摩川上流部	八王子市	・八王子市ハザードマップを作成	令和2年9月に作成した八王子市総合防災ガイドブック第2版を補完する資料として、令和3年9月に八王子市ハザードマップを作成し、市内の対象世帯に配布した。
	立川市	・浸水深表示板を設置	多摩川洪水浸水想定区域の市所有施設（4施設）に浸水深表示板を設置した。
	青梅市	・小学生を対象とした出前講座の実施	生活科の学習の一環として、小学校2年生を対象とした水防も含む防災全般についての出前講座を実施した。
	昭島市	・昭島市防災ガイドブックを発行 〔ハザードマップを周知〕	災害時の正確な情報の収集方法、住まいの安全、非常持ち出し品・備蓄品、災害時の避難行動などについて、災害発生前に確認していただくため、「昭島市防災ガイドブック」を発行し、全戸配布
	日野市	・新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営訓練を実施	令和3年8月、出水期を前に市職員を対象に新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営訓練を実施。
	福生市	・民生・児童委員への出前講座の実施	福生市民生・児童委員南地区定例会において、防災に関する出前講座を実施しました。
	多摩市	・避難所の混雑を緩和と感染症に対応した避難所設営訓練の実施	避難所の混雑を緩和するため、浸水想定区域から離れた避難所への避難についての啓発を実施するとともに、その対象の避難所のうちの2か所で感染症に対応した訓練を同時に実施。
	羽村市	・防災バスツアーを開催	羽村市防災週間に合わせて、令和4年3月12日（土）に防災バスツアーを実施し、多摩川周辺や市内の防災施設等を見学した。
	あきる野市	・土砂災害・水害ハザードマップの更新	令和3年9月に更新したあきる野市ハザードマップ（土砂災害・水害）を公表。翌10月に全戸配布を行なった。

減災に係る取組方針フォローアップについて

【資料2－3】令和3年度における構成員の取組状況（報告）
構成員より令和3年度における精力的な取組、先進的な取組を報告。

協議会	自治体	事例	内容
多摩川下流 部左岸	世田谷区	・多摩川河川カメラ映像閲覧環境整備	京浜河川事務所の広域情報ネットワークに接続し、区が多摩川の河川監視ライブカメラ映像をリアルタイムに確認できる環境を整備した。閲覧箇所は、京浜河川事務所と調整の上、計9箇所とした。
	府中市	・想定浸水深表示看板の設置	府中市内の浸水想定区域内にある電柱へ想定浸水深表示看板を設置した。
	調布市	・風水害時における要配慮者等避難バスの運行	令和元年台風第19号での避難行動について、令和2年度に市が行ったアンケートで明らかになった高齢者や障害者などの避難行動の課題を踏まえ、台風などの大雨による災害時に自力で避難所に避難するのが困難な方を避難所まで移送するために避難バスを運行することとした。
	国立市	・市報（風水害特集号）の発行	今年度、内水ハザードマップを作成したため、周知のため市報特集号を作成して全戸配布を行った。
	狛江市	・内水ハザードマップの作成	令和元年東日本台風での浸水被害を踏まえ、内水ハザードマップを作成し、全戸配布した。
		・消防団による排水訓練の実施	今年度導入する排水ポンプユニットの消防団による排水訓練を実施した。

減災に係る取組方針フォローアップについて

【資料2－3】令和3年度における構成員の取組状況（報告）
構成員より令和3年度における精力的な取組、先進的な取組を報告。

協議会	自治体	事例	内容
多摩川上流部	東京都建設局	・水防災情報の発信強化	・浸水リスク情報の提供 ・河川監視カメラの設置拡大 ・河川監視カメラ映像のライブ動画配信
		・区市町村との合同排水ポンプ車訓練の拡充	区市町村との合同排水ポンプ車訓練を実施した。
		・宅地建物取引業者へ水害リスク情報の提供	令和2年8月に宅地建物取引業法施行規則の一部が改正され、宅地建物取引業者は、宅地又は建物の取引に際して、洪水などの水害リスクを購入者等に事前に説明することが義務付けられた。本件を踏まえ、宅地建物取引業者向けの講習会において、水害リスクに関する情報の解説を実施した。
		・オンライン気象防災ワークショップ	東京都の区市町村の自治体担当者を対象に、各種の防災気象情報を適切に理解し、避難情報の発令のタイミングなどに関する検討を行い、防災対応力向上にむけて、気象防災ワークショップをオンラインを使用し実施した。
	東京管区气象台	・気象防災ワークショップ	自治体の防災担当者を対象に、地元气象台から発表される防災気象情報に基づく防災対応を疑似体験。

減災に係る取組方針フォローアップについて

【資料2－3】令和3年度における構成員の取組状況（報告）
構成員より令和3年度における精力的な取組、先進的な取組を報告。

協議会	自治体	事例	内容
多摩川下流 部右岸・鶴見川	鶴見区	・まるごとまちごとハザードマップの更新（想定最大規模）	令和2年度に鶴見区洪水ハザードマップを（計画規模）から（想定最大規模）に更新した。このことから、区内に設置している「まるごとまちごとハザードマップ」も（計画規模）から（想定最大規模）に更新した。
	都筑区	・水防訓練の実施	台風や大雨による河川の氾濫や、短時間の局地的な豪雨による急激な河川の増水等による被害を最小限に抑えるため、消防団・消防署・警察署・区役所と合同で訓練を実施しました。
	川崎市	・排水ポンプ車等夜間総合訓練の実施について①②	令和3年度の夜間総合訓練は排水樋管が接する多摩沿線道路上に横断管が整備されたことに伴い、各活動班が連携した訓練を実施した。
相模川	平塚市	・避難情報の判断・伝達マニュアルの大規模改訂	令和3年5月の災害対策基本法の改正を契機として、本市における避難情報等の発令基準を定めたマニュアルの大規模な改訂を行った。
	茅ヶ崎市	・ハザードマップとガイドBOOKの全戸配布	ハザードマップの配布時にかんたんマイ・タイムラインが作成できるガイドBOOKと一緒に配布し、マイ・タイムライン取組促進を図った。
	寒川町	・内水ハザードマップの作成	近年増加する集中豪雨などから、自宅の浸水のおそれを、避難場所・避難経路などと併せて確認し、日頃から大雨による災害に備えてもらうため、内水ハザードマップを作成。
		・防災講演会を動画で配信	防災知識の向上と防災意識の高揚を図ることを目的として開催している、防災講演会をコロナ禍の対応として、動画での配信に変えて開催した。
	神奈川県	・「かながわキッズぼうさいカード」の配布について	県内小学校の4年生全員（約8万人）に配布